

協働のまちづくり活動支援事業（中間報告）

実施事業名	研修会「地域の居場所のつくり方～地域住民と考える～」		
団体（グループ）名	支え合いの拠点（居場所）づくりの支援のための研究・実践グループ	代表者名	尾形 良子

事業目的
<p>互いに助け合い、支え合うはずの「コミュニティ」はなくなってしまうため、新たに作り直さなければなりません。住民の居場所づくり（食堂活動）はコミュニティを新しく再建する試みの一つで、全国に広がっています。江別市内に数か所の子ども食堂・地域食堂（居場所）の輪を広げるため、居場所の必要性を理解しそのあり方を知ってもらう試みとして研修会を開催します。江別市民の皆さんに参加してもらい、一緒に江別の居場所づくりについて考えていきたいと考えます。</p>

事業内容
<p>江別市コミュニティセンター（多目的ホール）にて、2019年2月9日（土）に江別市民を対象に、地域福祉専門職者と実践者を講師に迎え研修会を開催します。</p> <p>講師兼コーディネーターには社会福祉法人文京区社会福祉協議会（東京都）にて地域福祉コーディネーターのご経験もある現・地域連携コーディネーター系長浦田愛氏を迎え、居場所づくりの考え方やノウハウを学びます。実践者として同区駒込地区でみんなの居場所“こまじいのうち”マスターを務める秋元康雄氏、札幌市豊平区で“地域食堂かば亭”の代表を務める井上寿枝氏を講師として迎えます。“こまじいのうち”は住民と協働した先進的な取り組みに注目が集まり、全国から視察者が集まる地域の居場所です。“地域食堂かば亭”は住民主体で居場所づくりを進めながらオープンから1年で参加者が100名を超え、「ほっとできる居場所」を目指した活動がメディア等でも紹介されています。</p> <p>それぞれの実践について立ち上げの経緯や取り組みの課題なども報告いただき、居場所の重要性やどうしたら居場所づくりを進められるかについて考えていきます。</p> <p>江別にたくさんの居場所が作られ、よりよい地域となるよう住民の皆さんと一緒に「はじめの一步」を踏み出せる研修会になること間違いなしです。多くの江別市民の方々にご参加いただきたいと思います。</p>

事業進捗状況
<p>研修会「地域の居場所のつくり方～地域住民と考える～」</p> <p>日 程 2019年2月9日（土）14時～16時</p> <p>会 場 江別中央公民館・江別市コミュニティセンター 多目的ホール</p> <p>講 師 社会福祉法人 文京区社会福祉協議会 地域福祉推進係 地域連携コーディネーター（7名） 係長 浦田 愛 氏 こまじいのうち マスター 秋元 康雄 氏 地域食堂かば亭 代表 井上 寿枝 氏</p>

事業の成果・今後について
<p>今後は研修会の開催に向け、広報活動を行っていきます。開催チラシの作成と新聞折込、関係機関への周知依頼などを行い江別市民の方々にご参加いただけるようご案内していきます。</p> <p>現在行っている子ども食堂・地域食堂は毎月第3水曜日に実施しており、毎回地域の方々にご参加いただいています。食堂にご参加くださる方々にも研修会にお出でいただけよう周知し、この居場所づくりを一緒に考えてもらいたいと思っています。</p>

